

「新たな教師の学び」を支える協働のために 教員養成フラッグシップ大学構想と養成・研修改革の展望

中央教育審議会「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会「審議まとめ」(2021.11.15)の提起を受けて行われた2022年2月のラウンドテーブル特別フォーラムでは、教育改革を担う教師の学びの在り方、教師自身の「主体的・対話的で深い学び」を実現していくことの必要性和重要性をめぐり提起を受け、地域と大学における新たな教師の学びへの企図が共有された。具体的には、文部科学省総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長の小畑康生氏による情勢報告と、独立行政法人 教職員支援機構 理事長の荒瀬克己氏による方向定位を受け、福井大学(松木健一)、福井県総合教育研究所(北川裕之氏)、山口大学(和泉研二氏)、宮古島市(平良善信氏)より、地域と大学を結び教師の学びを支える取り組みの展開が提起された。

今回のセッションでは、前回の提起を踏まえ、更新制講習以後を見据えた研修改革へのその後の動き、さらに3月に文部科学省より4大学に指定された教師教育改革のための教員養成フラッグシップ大学の構想を視野に入れながら、実践の場である学校と大学・研修機関を結び、教師の「主体的・対話的で深い学び」の持続的な展開を支える組織的な取り組みのための、より具体的な構想と組織的な実践へと問いを進めていくこととしたい。

趣旨説明

実践的提案1：大阪教育大学における協働・省察を促す教員養成カリキュラムへの企図

大阪教育大学大学院連合教職実践研究科主任・教授 峯 明秀

実践的提案2：学び合うコミュニティを培う校内研修とそのネットワーク

福井県小浜市立小浜第二中学校長 加福 秀樹

福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 柳沢 昌一

実践的提案3：主体的・対話的で深い学びにつながる校内研修と学びの記録を

独立行政法人 教職員支援機構 理事長 荒瀬 克己

コメント

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長 小畑 康生

省察と展望

〈コーディネーター〉 福井大学 理事(企画戦略担当)・副学長 松木 健一

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広

実践的な力量を培う学びへの問いと特別フォーラムの企図

実践とその内部での省察、そして実践者の力量とその形成をめぐる問いをひらき、専門職教育改革に大きな影響を与え続けているドナルド・A・ショーンは、主著『省察的実践者の教育』の中で、専門職の実践的力量に関わっておよそ以下のような基本的な視点とアプローチを提起している。

専門職の実践的力量は、通常の講義や教授の方法では伝達することが不可能である。しかし実践を通じた実践者自身の探究を深めていく状況を協働して持続的に発展させることを通して、相互の力量形成を支えていくことは可能であり、そうしたアプローチと編成を専門職教育の中心に据えるべきである。

学習者中心の探究的な学習の実現を求めるならば、まずその支え手としての教師の学びにおいて、伝達型の講習モデルを打開し、実践を通じた協働探究の持続的な展開とその支援への企図が改革の基盤として要請されることになる。実践を協働で展開し、その省察を共有し、次の展開に活かしていくサイクルの持続的な展開は、実践発展の過程であると同時に、担い手の学び=力量形成のサイクルであり、また学び合う学校文化を培う長い道行きでもある。そうした学校での企図を支えるために、学校の内とその間で働くファシリテーション・コーディネーションの力が必要となり、その力を培うためのサイクル実現が不可欠となる。こうした教師の力量形成のサイクル・組織の多重の基盤づくりのために、学校・研修機関・教育委員会・大学の協働の企図・組織的なアプローチが地域ごとに、また地域を超える全国レベルで求められることになる。

今回の特別フォーラムでは、前回の提起を踏まえ、また更新制講習以後の研修の高度化をめぐる取り組み、さらには3月に決定された教員養成フラッグシップ大学における改革構想も視野に入れながら、「新たな教師の学び」を支える協働の具体的なアプローチ・デザイン・組織へと問いを進めていくこととしたい。教員養成フラッグシップ大学に指定された大阪教育大学・福井大学、さらに研修高度化を進める福井県教育総合研究所をはじめとする諸機関、国レベルの研修の高度化の役割を担う教職員支援機構の三つの具体的な構想・計画を共有し、教師の主体的・対話的で深い学びの具体化に向けて協働探究を進める。

Schön, D.A. (1983). *The Reflective Practitioner*. Basic Books. [佐藤学・秋田喜代美訳『専門家の智慧』ゆみ出版, 2001; 柳沢昌一・三輪建二監訳『省察的实践とは何か』鳳書房, 2007].

—— (1987). *Educating the Reflective Practitioner*. Jossey-Bass. [柳沢昌一・村田晶子監訳『省察的実践者の教育』鳳書房, 2017.]

柳沢昌一 (2021). 教育改革と省察的実践のコミュニティへの企図. *教育学研究*, 88(1).

【参考資料】 これまでの歩み①

2021 Spring Sessions 2021年2月20日(土) 10:00-12:00

「理論と実践の融合」への企図 その現段階
教職大学院の展開をめぐる当事者としての省察と展望のために

挨拶

福井大学 理事(企画戦略担当)・副学長 松木 健一

趣旨説明

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広

報告1: 拠点校方式における指導と連携の実際

信州大学大学院教育学研究科 高度教職実践専攻 教授 畔上 一康

報告2: 大阪府教育委員会と大阪教育大学の連携による
現職教員のためのカリキュラム改革

大阪府教育委員会事務局 総務部 教育政策課 大学連携企画担当課長 比嘉 直子

報告3: 教員育成指標に基づいた資質能力を育成する教員研修について
～福井大学連合教職大学院との協働を通して～

福井県教育総合研究所 教職研修センター長 山内 康司

提案

福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 柳澤 昌一

コメント

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長 齋藤 潔

〈司会〉 福井大学大学院連合教職開発研究科 客員教授 寺岡 英男

【参考資料】 これまでの歩み②

2021 Summer Sessions 2021年6月19日(土) 10:00-12:00

「理論と実践の融合」への企図 その現段階(2)
教職大学院の展開をめぐる当事者としての省察と展望のために

趣旨説明

福井大学 理事(企画戦略担当)・副学長 松木 健一

報告1: 「理論と実践の融合」をめぐる諸問題とその考察の多視的展開

兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教授 山中 一英

報告2: 理論と実践の関係を問い、考え続ける教師へ

岐阜大学大学院教育学研究科 教職実践開発専攻 教授 石川 英志

報告3: 大学における教員養成の実情から教師教育の理念を問う

——学部教職課程との連動の様相に注目して——

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 笹原 未来

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 隼瀬 悠里

提案

福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 柳沢 昌一

コメント

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長 齋藤 潔

今後の展望

〈司会〉 福井大学大学院連合教職開発研究科 客員教授 寺岡 英男

【参考資料】これまでの歩み③

2022 Spring Sessions 2022年2月19日(土) 10:00-12:00

「新たな教師の学び」を支える協働のために
更新制講習以後の研修改革の展望をどう描くか

趣旨説明

情勢報告：教師の資質能力の向上をめぐる施策の動向

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長 小畑 康生

実践的提案1：教師の主体的・対話的で深い学びとそれを支える研修の在り方

独立行政法人 教職員支援機構 理事長 荒瀬 克己

実践的提案2：今後の教員研修とそれを支える組織協働

福井大学 理事(企画戦略担当)・副学長 松木 健一

コメント

福井県教育総合研究所 所長 北川 裕之

山口大学 教育学部 教授 和泉 研二

宮古島市立教育研究所 所長 平良 善信

コメントを踏まえて 報告・提案者による再定位

今後の展望・提案

福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 柳沢 昌一

〈司会〉

福井医療大学 保健医療学部 教授 寺岡 英男

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広